

豊富な食文化

人間は食べるために生きている。生きるために食べている。そのために美味しいものを食べたいとの願望を持っている。それが食欲として楽しみとならなければ生きていけない。学生時代は本当に食べるものに苦労した。つまりお金がなかったのだ。実家からの仕送りまであと4日。お金は60円しかなく、4枚切りの食パンを一日1枚ずつ食べた。侘しかった。

そんな時に先輩がラーメンをおごってくれた。嬉しかった。この人の為なら何でもやろうとまで思えた。忘れられない感謝の思い出だ。今はラーメンなら一日4杯でも5杯でも自由に食べられるだけの金銭的余裕がある。しかし悲しいことに健康のためカロリーの高いものは食べれない。ドクターストップ！

シンガポールでの食事は圧倒的に中華料理であった。大半を中華系の人で占めているこの国。広い中国出身の地域性から民族、言語、風土、自然環境等の歴史が作り出す食事は多種多様であった。肉料理が多く北京ダックや餃子などの北京料理。エビやカニ料理の上海料理。食は広州にありと言われる飲茶やお粥の広東料理。海産物を使ったふかひれスープ、燕の巣のスープの潮州料理。スープそばの福建料理。そして私が一番好きな香辛料を豊富に使った辛めの麻婆豆腐やエビチリソースの四川料理。その他インド料理をはじめとする東南アジア各国料理。フランス料理などの欧米料理。勿論日本料理もあり世界中の料理が楽しめる。世界の食の縮図がこの国にはあるようだ。

日常的な家庭料理の買い物はスーパーマーケットがある。食品の種類は豊富で値段も手ごろ。毎日の食事を美味しく健康的に食べることが大切なのだ。



撮影 2014 年秋

